

資料 10

その他の報告

令和3年版環境白書について

令和3年版環境白書の概要

環境白書は、福岡県環境保全に関する条例第10条の規定に基づき、本県の環境の現状、環境保全のために講じた施策、今後の取組の方向性などについてまとめたものであり、一般向けには環境白書として公表している。

環境白書は、ホームページに掲載するほか、県庁県民情報センター、県内4か所の地区県民情報コーナー、市町村、公立図書館等に配架する予定。

総説

- 総説では、福岡県の環境の現状と取組のあらましを紹介するとともに、トピックスとして「県内の主な取組」を紹介。
- なお、本白書は、平成30年3月に策定した「第四次福岡県環境総合基本計画」において設定した7つの分野に沿った構成とし、本県の主な取組について、SDGsのゴールとの関連性を分かりやすく解説している。

【県内の主な取組】（抜粋）

〔県の取組〕

- ・ 家庭における省エネ・省資源の取組促進（環境保全課）
- ・ プラスチック資源循環促進（循環型社会推進課）
- ・ 指定希少野生動植物種の指定（自然環境課）
- ・ ワンヘルスの推進（保健医療介護総務課ワンヘルス総合推進室）

〔市町村の取組〕

- ・ AIによる食品ロス削減実証実験（福岡市）
- ・ 環境部庁舎のZEB改修を実施（久留米市）
- ・ 田川地区クリーンセンター（田川地区広域環境衛生施設組合）

環境の現況と対策

第四次福岡県環境総合基本計画で設定した7つの分野ごとに、環境の現況とそれに対する各種施策を紹介。

① 脱炭素社会※の推進

- ・ 家庭や事業所における省エネルギー・省資源の普及啓発、取組の促進
- ・ 都市づくり、交通、建築物、住宅等における省エネルギー化
- ・ 再生可能エネルギーの普及促進 等

※脱炭素社会…第四次福岡県環境総合基本計画では「低炭素社会の推進」だが、今後の取組の方向性に沿った表現に改めたもの。



エコふあみ アプリ

② 循環型社会の推進

- ・ 3R啓発等による廃棄物減量化の促進
- ・ 食品ロス削減の推進
- ・ 廃棄物の適正処理のための普及啓発や監視・指導
- ・ ICTを活用した産業廃棄物処理施設への監視指導等の強化
- ・ 産業廃棄物処分業者に対する立入検査の強化 等



ドローンによる測量の様子

③ 自然共生社会の推進

- ・ 希少野生動植物種の保護に関する条例に基づく指定希少野生動植物種の保護
- ・ 英彦山及び犬ヶ岳における生態系の回復と絶滅危惧植物の保護
- ・ ヒアリ等外来種防除講習会の実施、外来種に係るリーフレットによる啓発 等

指定希少野生
動植物種の例



キビトリシズカ



ムラサキ



コバンムシ

④ 健康で快適に暮らせる生活環境の形成

- ・ 大気環境状況の把握（PM_{2.5}やO_xの注意喚起等の実施を含む）
- ・ 公共用水域や地下水の水質汚濁状況の監視
- ・ 工場・事業場への立入検査や改善指導 等

⑤ 国際環境協力の推進

- ・ アジア諸地域の行政職員等に対する研修の実施
- ・ ベトナム、タイにおける福岡方式廃棄物処分場の整備及び普及展開への支援
- ・ タイ・バンコク都の小学校での環境教育の普及支援 等

⑥ 経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進

- ・ 試験研究機関における環境負荷低減に資する調査・研究
- ・ グリーン購入の推進
- ・ グリーンアジア国際戦略総合特区における環境配慮型製品の開発・生産拠点の構築
- ・ 水素エネルギー社会の実現のための福岡水素戦略の推進 等

F Cトラックラッピングコンテスト受賞作品



福岡県知事賞



福岡県トラック協会会長賞

⑦ 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

- ・ ウェブサイトを利用した環境情報の発信
- ・ 環境県民会議や県の各保健福祉環境事務所が設置している地域環境協議会による県民・事業者・行政が一体となった環境保全への取組
- ・ 小学生向けの環境教育副読本、地球温暖化対策ワークブックの作成・配布
- ・ こどもエコクラブ活動の支援 等

計画指標（目標）の進捗状況

分野	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗
脱炭素社会 の 推 進	家庭（世帯当たり） におけるエネルギー 消費量	28.4 GJ/世帯 (平成26(2014)年度)	26.4 GJ/世帯 (令和4(2022)年度)	○ 24.2 GJ/世帯 (平成30(2018)年度)
	事業所（床面積当 り）におけるエネ ルギー消費量	1.01 GJ/m ² (平成26(2014)年度)	0.95 GJ/m ² (令和4(2022)年度)	○ 0.92 GJ/m ² (平成30(2018)年度)
	再生可能エネルギー 導入容量	192 万kW (平成28(2016)年度)	275 万kW (令和3(2021)年度)	○ 269 万kW (令和2(2020)年度)
	公共建築物等にお ける木材利用量	7,603m ³ (平成28(2016)年度)	10,000m ³ (令和3(2021)年度)	○ 9,657m ³ (令和2(2020)年度)
循環型社会 の 推 進	リサイクル技術の実 用化件数	累計29 件 (平成28(2016)年度)	累計41 件 (令和4(2022)年度)	○ 累計37 件 (令和2(2020)年度)
	一般廃棄物最終処 分量	189 千トン (平成28(2016)年度)	191 千トン以下 (令和2(2020)年度)	◎ 176 千トン (令和2(2020)年度)
	産業廃棄物最終処 分量	619 千トン (平成27(2015)年度)	648 千トン以下 (令和2(2020)年度)	○ 510千トン (令和元(2019)年度)

◎：目標を達成したもの ○：目標は達成していないが、計画策定時から向上したもの
△：計画策定時から横ばいのもの ▽：計画策定時から後退したもの

計画指標（目標）の進捗状況

分野	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗
自然共生 社会の推進	生物多様性地域戦略 策定市町村数	4 市町村 (平成28(2016)年度)	6 市町村 (令和4(2022)年度)	◎ 7市 (令和2(2020)年度)
	希少野生生物ホーム ページへのアクセス 件数	120,020 件 (平成28(2016)年度)	155,000 件 (令和3(2021)年度)	○ 177,391件 (令和2(2020)年度)
	農地等の保全に 取り組む面積	39,056 ha (平成27(2015)年度)	40,000 ha (令和3(2021)年度)	○ 40,033 ha (令和2(2020)年度)
健康で快適 に暮らせる 生活環境の 形成	景観計画による 規制・誘導が行われ ている市町村数	23 市町村 (平成28(2016)年度)	30 市町村 (令和4(2022)年度)	○ 26 市町村 (令和2(2020)年度)
	環境基準の達成率 大気 水質 DXN類 (ダイオキシン) 騒音	大気 (SPM, NO ₂ : 100%) 水質 (BOD, COD : 85.6%) DXN 類 (大気、公共用水域水質、 公共用水域底質、 地下水、土壌 : 100%) 騒音 (航空機 : 80.0%、 新幹線 : 68.9%、 自動車 : 95.8%) (平成28(2016)年度)	環境基準の達成率 向上・達成維持を 図る。 (令和4(2022)年度)	○ 大気 (SPM, NO ₂ : 100%) 水質 (BOD, COD : 76.1%) DXN 類 (大気、公共用水域水質、 公共用水域底質、 地下水、土壌 : 100%) 騒音 (航空機97.6%、 新幹線70.5%、 自動車96.2%) (令和2(2020)年度)

◎ : 目標を達成したもの ○ : 目標は達成していないが、計画策定時から向上したもの
△ : 計画策定時から横ばいのもの ▽ : 計画策定時から後退したもの

計画指標（目標）の進捗状況

分野	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗
国際環境協力の推進	国際環境協力の案件数	累計7 件 (平成28(2016)年度)	累計19 件 (令和4(2022)年度)	○ 累計14件 (令和2(2020)年度)
	国際環境協力に係る研修参加者数	累計179 人 (平成28(2016)年度)	累計263 人 (令和4(2022)年度)	○ 累計231 人 (令和2(2020)年度)
経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進	特区制度を活用して設備投資を行った企業数	累計105 社 (平成28(2016)年度)	累計200 社 (令和3(2021)年度)	○ 累計164 社 (令和2(2020)年度)
	エコタウン（北九州市及び大牟田市）事業に関わる事業数	42 事業 (平成28(2016)年度)	42 事業 (令和4(2022)年度)	○ 44 事業 (令和2(2020)年度)
	福岡県の試験研究機関における環境関連技術の開発件数	累計54 件 (平成28(2016)年度)	累計97 件 (令和4(2022)年度)	○ 累計79 件 (令和2(2020)年度)
持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり	福岡県環境ウェブサイトアクセス数	816,093 件 (平成28(2016)年度)	900,000 件 (令和4(2022)年度)	○ 963,018 件 (令和2(2020)年度)
	こどもエコクラブ市町村事務局登録数	13 市 (平成28(2016)年度)	30 市町村 (令和4(2022)年度)	○ 22 市町 (令和2(2020)年度)
	環境講座・環境イベント等の開催数	2,013 件 (平成28(2016)年度)	2,013 件以上 (令和4(2022)年度)	▽ 1,043 件 (令和2(2020)年度)

◎：目標を達成したもの ○：目標は達成していないが、計画策定時から向上したもの
 △：計画策定時から横ばいのもの ▽：計画策定時から後退したもの